

静岡市動物園協会の概要

1. 設立

昭和40年、市制80周年記念事業として市立動物園建設構想が発表される。その反響は大きく、市内の児童生徒の「一円募金」を始めとする多くの市民からの寄付が寄せられ、昭和44年8月1日、総工費7億5500万円をかけ、面積6.6haの日本平動物園が完成しました。

昭和44年3月20日、動物園のオープンに先駆け、動物の飼育・展示、繁殖を担う動物園と役割分担し、動物園関係事業の後援、市からの委託事業（駐車料金、入園料の徴収及び園内清掃業務）及び動物園来園者への便益を図る事業（売店、食堂、ベビー車貸出し等）を担うため、静岡市の全額出資により財団法人 静岡市動物園協会が設立されました。

発足後40数年が経過する中、公益法人を取り巻く環境も大きく変化する中、国における公益法人制度改革関連3法が施行され、平成24年2月1日、非営利型一般財団法人 静岡市動物園協会として再出発しました。

2. 事業の内容

（一財）静岡市動物園協会は、設立以来、日本平動物園を活動のフィールドとして、来園されるお客様のために以下の事業に取り組んでいます。

（1）公益目的事業への取り組み

動物愛護の心を育むとともに命の大切さを学ぶ情操教育、絶滅危惧種から環境破壊を考える環境教育、動物園の役割の一つである「レクリエーションの場」として、楽しく一日を過ごせるためのイベント、動物園の持つ資源・特質を生かし、社会的・公益的役割を果たすために、自己の持つ知識・経験や時間を社会に還元しようとするボランティアの育成と活動の場、動物園の安定した集客確保のための広報宣伝事業など、各種事業を実施しています。

（2）受託事業への取り組み

静岡市立日本平動物園の入園者に対する売改札、駐車場・遊戯施設の運営、動物園内の清掃など静岡市からの委託により実施しています。

これらの業務は、来園される方々が最初に「動物園」と接する場所であることを大切に、全職員が「おもてなし」の心をキーワードに従事しています。

これらの事業は、個別には民間企業等への委託も可能なものと考えることができそうですが、お客様に継続的に安定したサービスを提供することを踏

まえた場合、事業の質を維持すること、繁忙時における業務ごとの情報・資源の共有化、加えて災害時における緊急体制の速やかな確立という面から、当協会ではこれらの業務は一体不可分なものであると捉え、来園者が安全で快適に動物園を利用することができるよう業務を遂行しています。

(3) 収益事業への取組み

動物園の楽しみ方は様々です。

当法人では、来園された方々に対し、物販及び飲食等のサービスを提供し、「見る楽しみ」、「買う楽しみ」、「食べる楽しみ」を感じていただけるよう、オリジナル商品の開発・提供に取り組んでいます。

園内には、お食事のできるレストハウスのほか、軽食やグッズなどのお土産を買うことができる売店を4つ備えており、居心地が良く、また行ってみたいくなる動物園を目指しています。

この収益事業によって得られた利益は、公益目的事業の財源に充当しています。

なお、一般財団法人 静岡市動物園協会の事業内容、財務内容等詳細については、HP内、情報公開を参照ください。